

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立三先幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

- ・園内での異年齢交流、地域や学校諸団体との交流や子どもたち同士も直接関わり合って遊ぶ機会が増えた。自然との関わりを含め、実体験を主とした保育を通して、のびのびと自己を発揮している姿につながっている。地域の中の幼稚園として、人たちに大切にされ、愛されていることを感じられるような保育の展開に努めている。
- ・保護者アンケートの結果が肯定的な意見が大半であり日々の保育の充実あってこそその結果だと思う。
- ・年間を通して、幼稚園運営に保護者や地域の意見を取り入れ、風通しの良さを感じている。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ①今年度末保護者アンケートの「安全や災害時などに対する知識を身につけ、安全な生活への意識を高めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする
- ②今年度末保護者アンケートの「幼稚園の子どもたちは集団の中で楽しんで過ごしている」という項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする
- ③今年度末保護者アンケートの「幼稚園は、いろいろな国や地域の文化や、日本の伝統などにふれる機会がある」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

- ・①、②、③全てにおいて目標は達成している。
- ・年間を通して毎月訓練を実施すること自体も素晴らしい取組である。二次避難場所への引取訓練も、3学期から1学期へと実施を早めたこと、想定外の実施など多様な方法で取り組んでいる内容に、区役所や警察などの外部も活用して今後も続けていってほしい。
- ・外部連携や研修などを重ね、教職員の特別支援教育への学びが大変大きい。幼児理解につながり、表情豊かにのびのびと表現を楽しんでいる姿からも実感できる。
- ・「英語で遊ぼう」は、2年目の取組として続き、園児たちもより英語に親しんでいる様子がある。小学校との交流で英語教育への滑らかな接続にもつながっていくという保護者や地域からの期待も大きい。今年度は中国の園児の在籍から中国語に親しむ環境、保育実践もあり、異文化への興味や関心にもつながっていると感じる、

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①今年度末保護者アンケートの「お子さまは遊びの中で学んでいる」の項目について、肯定的に回答する割合を95%以上にする
 - ②今年度末保護者アンケートの「年度当初より、身振りや言葉で友達に思いを伝えようとするようになってきた」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする
 - ③今年度末保護者アンケートの「年度当初より体を動かす遊びが好きになった」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする
- 今年度末保護者アンケート「幼稚園は、規則正しい生活習慣が身につくような指導に努めている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

- ・①、②、③、④全てにおいて目標は達成している。
- ・学期末の幼稚園教育、幼児の姿のパワーポイントを使って話をする中で、園としての教育内容や育ちを伝えることができた。月末に保育室降園を実施し、ドキュメンテーションを作成したことで、担任から直接保育の取組やねらい、子どもの姿をはなすことができ、欠席者や預かり保育で参加が難しい保護者にも、発信することができ、より分かりやすくなった。
- ・ドキュメンテーションにより、保護者の教育や子どもの見方を育てることにつながっている。

- ・今年度2年目の自然に関わった取組の中で、多様な体験を重ねてきていることがよくわかる。家庭や地域ではなかなかできなくなっている活動として、自然や生き物、人との関わりの中で、自ら考えたり、生活に取り入れたり、探究したりする活動の中で自らの感性や感覚を豊かにしていくことができると感じる。その感性の基盤を幼稚園で培っている様子がよくわかる。生き物はもちろん、植物にも命があることを知るなど、今後も直接体験活動を進めていってほしい。
- ・毎日、雨天以外は園庭に出て、異年齢が関わって様々な遊びを楽しむ中で存分に体を動かしている。走る、跳ぶはもちろん、ボールや縄などいろいろな遊具を使う遊びを通して、多様な動きを身につけてきたことで、より身体を動かす楽しさを味わっている。
- ・好ましい生活習慣や正しい姿勢を身に付けるためには毎日の繰り返しが必要である。自ら楽しく「やりたい」と思えるように保育を進めているのを感じる。また、それらは、家庭との連携が必要不可欠であり、小学校にもつながっていく。今後も、しっかりと取り組んでいってほしい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ①今年度末教職員アンケートの「研修を通して、自身の資質向上につなげることができたか」の項目について、肯定的に回答する割合を100%にする
- ②今年度末保護者アンケートの「幼稚園は活動内容や教育方針を保護者に分かりやすく伝えている」の項目について、肯定的に回答する割合を90%以上にする

- ・①、②全てにおいて目標は達成している。
- ・園内の職員体制については、限られた中で、協力して精いっぱい取り組んでこられたことに、敬意を表す。
- ・HPも写真撮影について、難しくなっているので、更新もなかなか頻繁には難しくなっていると思うが、その他の取組でしっかりと内容を発信することができているので、こだわらずにできる範囲で取り組まれたらいいと思われる。
- ・中学校との交流は、連続して関わることで、子ども同士の親しみにつながっている。小学校との交流では、小学校を知ることで進学への期待につながっている。地域との交流は、地域も子どもたちも嬉しく、お互いに元気をもらえるよい時間であった。普段から地域の人を知っていることに意味があり、人と人とのつながりは有事の際に重要となる。今後も公立の地域に根付いた幼稚園としてさまざまな交流を進めていってほしい。

3 今後の学校運営についての意見

- ・公立の幼稚園として、地域と連携しながら、安全・安心な環境の中で、園児が健やかに成長するために、保育の充実に向けて、これらの取組を続けてほしい。